

数々のご支援をありがとうございました

～ 文団連の更なる発展を期待する～

顧問 小高 誠太郎

私は、狭山市文化団体連合会が設立の時（平成11年9月26日）に、推されて本会の会長に。40団体以上も加盟した連合体ができたので、大変注目されたものです。本会の目的である「文化団体の連携を図り、市民文化の普及・向上に資する」を目指す以外にないと腹を決めました。幸い有能な運営スタッフに恵まれ、ここまで務めることができました。

昨年来、体調に不安を感じたので、5月の定期総会で退任した次第です。あっという間の7年6ヶ月でした。数多くの経験をさせていただきました。狭山市はじめ関係機関ならびに本会の賛助会員の皆様、そして会員の皆さんに、深く感謝を申し上げます。

顧みますと、毎年、一年中休む暇はありませんでした。自主事業は早々と設立の翌年から「桜まつり」「青少年文化体験フェスタ」「芸術祭」の三本で実施してきて、内容面では現在のように充実しました。また専門委員会は、文団連の目的達成のための重要な活動でした。本会の広報誌である「ネットワークニュース」は、11年11月にVol.1が発刊され、今年3月号がVol.89。広報委員の皆さんには無理をお願いし、毎月1回発行を頑張ってくれました。本会の貴重な財産になりました。

私たちの真剣な討議と実践が事業の充実を生み、市民にも文団連の存在が周知され、評価も高まってきています。狭山市市民会館や狭山市観光協会との共催、県の青少年育成功労賞の受賞は、その証でしょう。

これからも加盟団体の皆さんが、文団連のこと延いては狭山市の文化の在り方を引き続き熱く語っていただき、素晴らしい取り組みに発展させていってください。

今後とも、狭山市文化団体連合会に厚いご支援を賜りますようお願いいたします。

長い間お疲れさまでした

-- 慰労会盛大に開催 --

文団連設立時より会長として、長年ご苦勞いただいた小高元会長の勇退にあたり、有志の呼びかけで、総会の日、ニックスにて慰労会が盛大に開催されました。

ビデオによる活動記録の上映、アルバム贈呈、余興はお師匠さん達の踊り等、終始和やかな気分でお開きとなりました。（広報委員会 高沢記）

